

# ■ 大規模な地震・津波を想定した防災訓練実施について

## ～平成 29 年度 釧路川総合水防演習・広域連携防災訓練 (サテライト会場：釧路港)～

北海道開発局 港湾空港部 空港・防災課

平成 29 年 6 月 17 日(土)、北海道内初の試みとして、河川・港湾事業者がそれぞれの会場において同じ時間帯で地震・津波を想定した広域的な防災訓練を実施しました。

サテライト会場の釧路港では、東港区耐震強化岸壁において、以下 8 項目の実働訓練を行いました。

### ①避難訓練

避難情報伝達と港湾工事作業員による避難訓練。

### ②通行止訓練

道路陥没を想定し災害拡大防止の車両通行止め訓練。

### ③漂流者捜索・救助訓練

漂流者を船舶で捜索し、洋上での救助訓練。

### ④港湾巡視訓練

港湾業務艇による被害把握訓練。

### ⑤油防除訓練

油吸着マットによる流出油回収訓練。

### ⑥航路啓開訓練

潜水士による障害物の特定と起重機船による滞留物除去訓練。

### ⑦被災状況調査訓練

港湾施設の被害状況調査訓練。

### ⑧緊急支援物資輸送訓練

耐震強化岸壁を拠点とし、船舶からトラックへの物資輸送訓練。

訓練には、港湾関係団体 18 機関(138 名)が参加し、各機関の役割や相互連携を確認しました。また、来賓として鈴木貴子議員ほか皆様方が、サテライト会場で視察されました。当日は天候にも恵まれたことから一般見学者も 40 人以上来場され、緊迫感ある訓練を多くの方々に披露することができました。

今後も、より一層の安全・安心な港湾活動の実現に向け継続的に訓練を実施し、災害時にも関係機関が連携して迅速な対応ができるよう努めてまいります。



開会式



被災状況の調査状況



漂流者の救助状況



緊急物資の輸送状況